

# 資質・能力の育成に向けた授業づくり

授業づくりの「5つの視点」は、児童が豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、資質・能力の育成に向けた授業づくりを進める上で大切にしたい視点をまとめたものです。各学校においては、学習指導要領の趣旨の実現に向け、「5つの視点」から授業づくりを見直すことが大切です。

## 授業づくりの「5つの視点」と学習指導要領の関係

### 平成29年学習指導要領

#### 前文

これからの学校には、(略)一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

育成を目指す資質・能力の三つの柱



資質・能力の育成



授業改善

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

主体的・対話的で深い学び

一体的に充実

学習指導要領 総則 第4 児童の発達の支援

個別最適な学び、協働的な学び

指導方法や指導体制の工夫改善など  
個に応じた指導の充実

学級経営、  
児童の発達の支援

特別な配慮を必要とする  
児童への指導

など

主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び及び協働的な学びに生かす

#### 〔視点1〕 育成を目指す資質・能力の明確化

- 単元(題材)を見通して、育成を目指す資質・能力を明確にし、評価規準を設定する。
- 評価規準を踏まえた学習活動を、単元(題材)全体を通してバランスよく位置付ける。
- 児童の学習状況を評価規準に基づいて見取る。

・各教科等で育成を目指す資質・能力の育成  
・言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成等

#### 〔視点2〕 内容や時間のまとまりを見通した単元(題材)のデザイン

- 主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや変容を自覚できる場面を設定する。
- 対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面を設定する。
- 学びの深まりをつくりだすために児童が考える場面と教師が教える場面を組み立てる。

#### 〔視点3〕 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

- 一人一人の特性・学習進度等に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う。
- 一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う。
- 一人一人のよき点や可能性を生かし、多様な他者と協働する場面を設定する。

#### 〔視点4〕 全ての児童が安心して学ぶことができる環境づくり

- 日常的にICTを活用することのできる環境を整備する。
- 学級を互いに学び合う学習集団に育てる。
- 情報を正しく安全に利用できるようにする。

#### 〔視点5〕 特別な配慮を必要とする児童への指導内容や指導方法の工夫

- 障がいの種類や程度を十分に理解して指導方法の工夫を行う。
- 個に応じた指導内容や指導方法を計画的に検討し実施する。
- 「特別な支援の必要性」の理解を進め、互いの特徴を認め合い、支え合う関係を築く。

### GIGAスクール構想(1人1台端末・高速ネットワーク)

教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、学習指導要領の趣旨を実現するため重要な役割を果たす。